

## 安達太良山の火山活動解説資料（令和4年10月）

仙台管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2、図3-①⑥）  
監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。鉄山監視カメラによる観測では、地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図3-②～⑤⑦）  
火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図4、図6）  
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（10月21日）

・若宮監視カメラ（沼ノ平火口の西北西約8km）の映像です。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

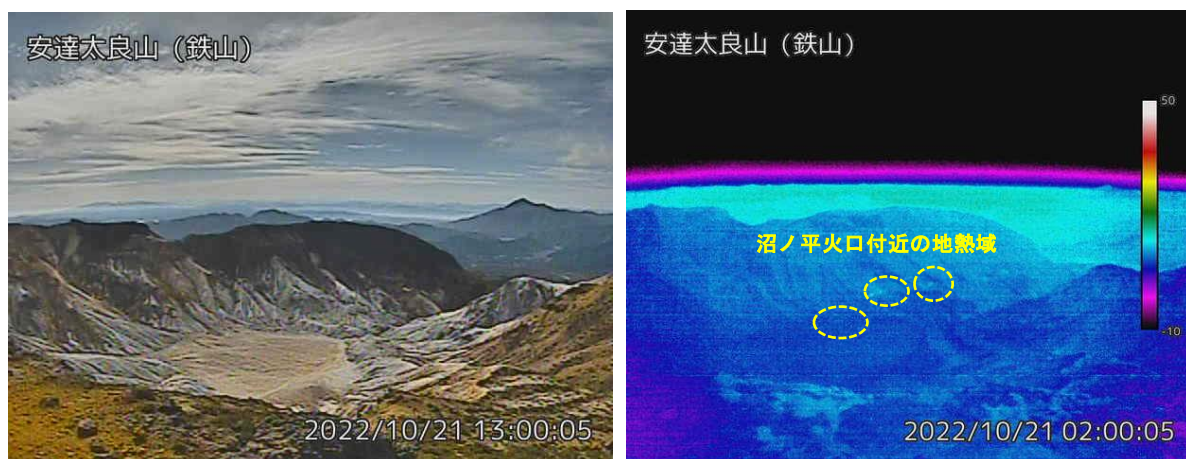
次回の火山活動解説資料（令和4年11月分）は令和4年12月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。



**図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況と地表面温度分布の状況**

・鉄山監視カメラ（沼ノ平火口の北東約700m）の映像です。（可視：10月21日、赤外：10月21日）

噴気は認められず、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

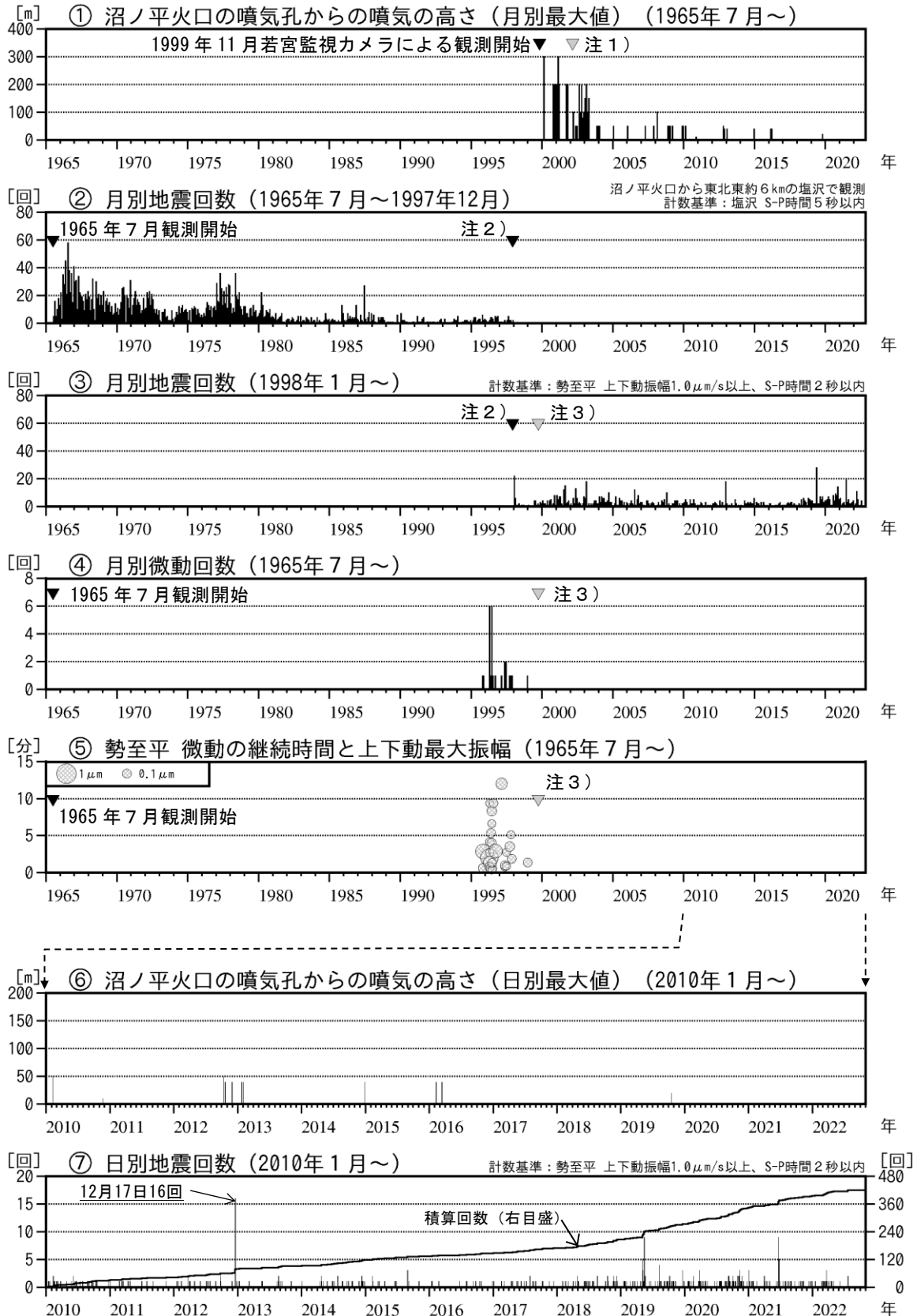


図3 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2022年10月）

- ・注1）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②～⑤⑦計数に使用した観測点は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。  
 観測開始1965年7月～塩沢観測点 [S-P時間5.0秒以内]  
 注2）1998年1月～塩沢観測点 [S-P時間2.0秒以内]  
 注3）1999年10月～勢至平観測点 [振幅1.0 $\mu$ m/s以上、S-P時間2.0秒以内]

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。





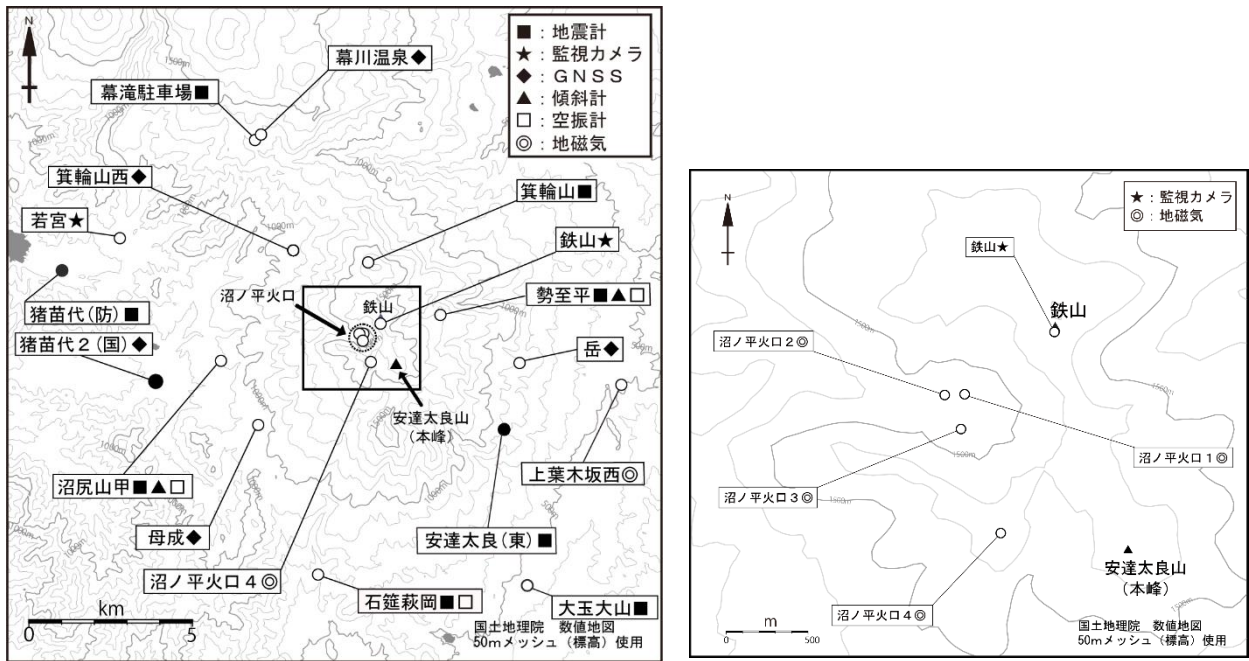


図5 安達太良山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。  
 （国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

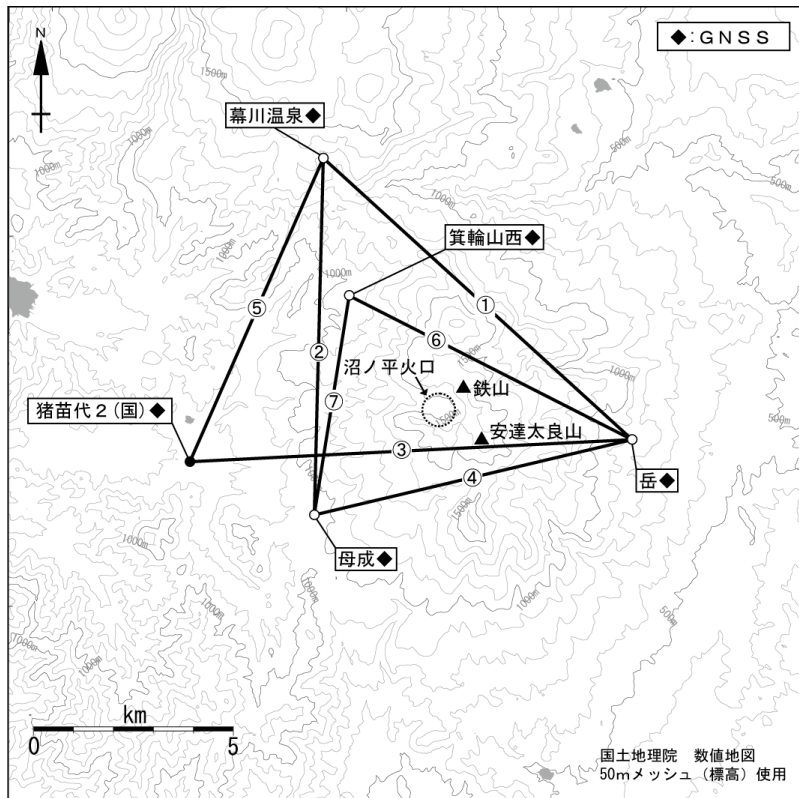


図6 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 （国）：国土地理院